

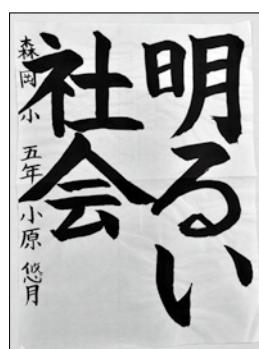
社会を明るくする運動

優秀作品 発表！

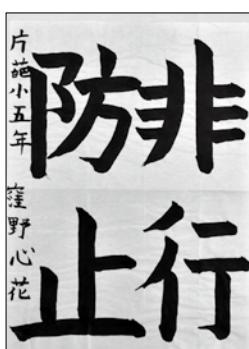
森岡小学校 小原 悠月

卯ノ里小学校 北山 莉子

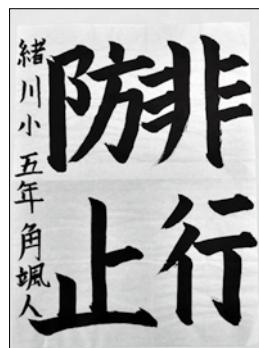
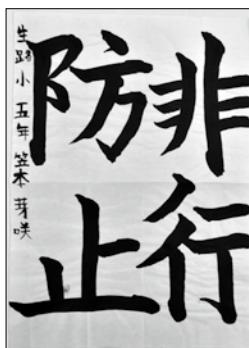
小学5年生 習字



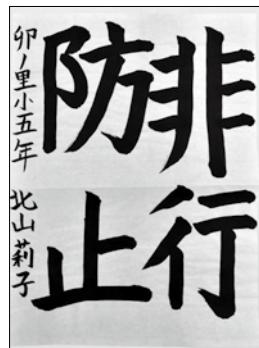
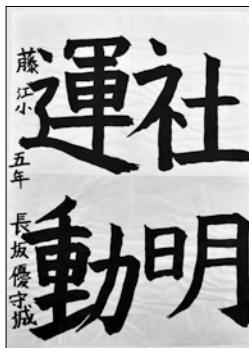
片倉小学校 窪野 心花



生路小学校 笠本 芽咲



藤江小学校 長坂 優守城



緒川小学校 角嶋人

社会を明るくする運動

訴えたいこと 中学生が いま、

青少年の非行の芽をつみ、心豊かで
たくましい青少年を育てるためには、
何よりも健全な家庭環境が大切です。
「東浦町非行防止と青少年健全育成
町民大会(中止)」で発表を予定して
いた中学生の意見発表を紹介します。

(敬称略)

貯めようよ 優しい言葉の貯金箱

西部中学校 増田 夏音

北部中学校 鈴木 ひなた

東浦中学校 新美 桜矢

助け合い「大丈夫?」で広がる輪
心寄せ 笑顔がたえない町つくろう

中学1年生 標語

社会を明るくする運動啓発の作品募集に参
加してくださった、町内在学の小学5年生、
中学1年生の皆さんありがとうございました。
(敬称略)

●問い合わせ

ふくし課 内線124



SDGsについて皆さんは知っていますか。



これからの未来を築くために

西部中学校2年 田中 和佳奈

私は17の目標の中で「貧困をなくそう」「安全な水とトイレを世界中に」に関心を持ちました。日本の現状は、少子高齢化が進み、働き手が減つてしまい、高齢者に税金が多くかかり、多くの借金を抱えています。しかし、子どもは教育を受けることができ、恵まれた国でもあります。それに対し、世界には、子どもが十分な教育を受けることができない、貧困な国もあります。世界では人口が増加傾向にあり、30年後には、世界人口が100億人を超えるという

言葉は聞いたことがあるという人は多いかもしれません。せんが、17の内容をすべて知っている人は少ないのでないでしょか。SDGsは日本語に訳すと「持続可能な開発目標」です。未来のために、今世界がすべき目標が17個挙げられています。

私はこの17の目標の中でも「貧困をなくそう」「安全な水とトイレを世界中に」に関心を持ちました。この1.5億人という数は、連日ニュースで見ない日はない、新型コロナウイルスの世界感染者数と同じです。この数字も衝撃ですが、このうち、年間30万人ほどの方が亡くなっています。その多くは、未来を担う子どもで、餓死や水が汚れていたために下痢やコレラにかかり、1日で約4000人が亡くなっています。私は、この現実を知ったとき、なぜ新型コロナウイルスはこんなにも注目を浴びるのに、貧困や水の問題はあまりニュースで取り上げられないのか不思議に思いました。

私が学校に行っていると

きも、世界のどこかで汚い水を飲み、苦しんでいる人がいるという事実は、変わりません。

汚い水を飲むというのは、今の日本では考えられないことです。公園にはきれいな水の出る水道があります。出かけた先では手をあらう

こともできます。自動販売機は街にあふれています。それでも必要な飲み物を手に入れることができます。

以前、学校に水筒を持つていてことを忘れたことがあります。口が渴き、お茶が飲みたいなと思いました。世界ではその状況が毎日続いています。想像することしかできませんが、もしもきれいな水がなかたら、私も渴くても目の前にあるものを飲んでいます。精神的につらういますが、今日を生きるためにには、命を守るために、やむを得ないのだろうと思いました。

んで自分の一生をかけて、世界を発展させようとした

世界を発展させようとした明家がいて、その人たちが未来を変えてくれました。

その人たちのおかげで、今は未来を変えてくれました。その恵まれた環境があると思います。こんなふうにできるのは、進化を遂げた人間にしかできないことだと思います。





ストレス社会を生き抜くために

東浦中学校3年 杉原 佑介

2020年4月から改正

健康増進法が全面施行され、たばこを吸わない人が煙の被害にあわないように、屋内では原則禁煙となりました。飲食店では、禁煙・分煙のマークが表示され、たばこを吸う人、吸わない人にとって過ごしやすい環境が整えられることになりました。

僕は、たばこ自体に対し「嫌いだな」という印象をもっています。ある日、ふと「さまざま法律があるものの、たばこが吸つてしまふほどのストレスを抱えてしまう現代社会に問題があるのではないか」と考えることがありました。もちろん、ストレス解消のしかたはさまざまあります。ストレス解消＝喫煙であります。たぶん、1つの側面として「ストレス社会と喫煙」の関係があると僕は思います。そのように考えた理由を紹介します。

1つ目の理由は、働く環境にあると思います。ニュース番組や新聞から伝わってくるのは「働き方改

革、パワハラ、コロナ倒産」などの暗いニュースです。

みるといのではないかと思います。

このストレス社会と向き合

い頑張っていくためには、誰かが手を抜いているから、

このよう暗い状況になつてているのか？ 原因は何なのか？ 僕自身は働いていないため、仕事がどんなに大変なものなのか実感できませ

ん。それでも自分なりに考

えてみると、みんな必死に働いているのではないかと思

います。必死に働いて、家族や社会のために尽くし

てているものの、もしかした

ら、ストレスを解消する時間や機会が失われているのかもしれません。せっかく

の休みの日でも、新型コロ

ナウイルス感染症予防のた

めに外出できなかつたり、友人と会いたくても、遠慮

してしまうたりと、我慢す

ます。先にも述べましたが、

僕自身は働いていません。

しかし、必死に働いている人こそ、もっと全力でスト

レス解消をしてよいと考え

ます。「ストレス解消＝喫

煙」という人ばかりではあ

りませんが、ストレス解消

の仕方をもう一度見直して

みます。

このように、ストレス社

が、僕たち中学生も近い将

来、働くことになります。

このストレス社会と向き合

い頑張っていくためには、

今あるこの中学校生活を一

生懸命に過ごしていく必要

があります。

コロナ禍で、我慢を強い

られます。部活動や行事に制

限があつたり、給食も黙食

を続けていたりと「感染の恐れ」と「全力を出し切りた

いのに出せないもどかしさ」の中で葛藤する日々が

続いています。それでも、

僕たちは、目の前のこと

を頑張っています。そして、

ストレス社会といわれても、

結果によると、男性の年代

別喫煙率は、20歳代から50

歳代まで、およそ55～58

パーセントとなつており、

結果としてうまくいかない

喫煙の理由はさまざまある

と思いますが、確実に人体への影響はあります。禁止

をすることはできないものの、喫煙のあり方を見直すべきだと思います。

このように、ストレス社

会と喫煙を述べてきました

が、僕たち中学生も近い将来、働くことになります。

このストレス社会と向き合

い頑張っていくためには、



事故により悲しむ人がいない未来に

北部中学校 3年 蟻原 そら

「蜘蛛の巣のようなヒビ」が入ったフロントガラスに人の毛がからまりつき血液がつく、皆さんはそんな風に死にたいですか」

この言葉は交通安全教室に来てくださった愛知県警自転車部隊「B-Force」の隊員の方からの問い合わせです。私はこの言葉を聞いたとき、恐怖と不安から心臓の音が大きくなるのを感じました。その言葉は私に現実味を覚えさせたからです。自転車通学をしているとき、ときどきヒヤリとすることがあります。例えば、車の死角に入ってしまったとき、突然強風が吹いたときなど想定していなかつたことが起きたときです。

私は、隊員の方の問いかけによりこのようなヒヤリとするときを含む、自転車に乗っているときはいつ何時事故が起こってもおかしくないことを知りました。少しでも事故を防ぐため私が出来るのは交通規則を守ることです。1年間で自転車事故により、愛知県

内で命を落とされる人は29人もいます。数字で表すと想像しにくいですが、自分の身の周りの人に置き換えると、その数字の大きさがよく分かります。命を落とした方のうち、ヘルメットをかぶるという交通規則を守っていた人は29人中2人しかいないのです。ヘルメットをかぶつていれば亡くならなかつた人もいたはずです。

私たちが交通規則を守ることで事故を防ぐことができたり、助けられる命が増えたりします。私は、事故は誰にでも起りうることであり、自転車に乗るといふことは命を落とす危険があるということを理解することができました。しかし、標識は文字で大きく書かれているので大抵の人は一目で意味を理解することができます。車の中には勘違いしやすい意味を持つものや、一目では分かりにくい意味を持つものがあります。標識の正しい知識があれば、正しく事故を防げると思います。なので、私は交通事故を防ぐために道路標識について知ることが大切だと思います。

まわりの人を悲しませないためにも、大切な命を奪つてしまわないためにも、私は交通規則にのつとり、安全を心がけ自転車に乗りたいと思います。誰かの命を奪つてしまつてからでは後悔してもしきれません。私は、事故により、悲しむ人がいないうちの未来になりますように。

1人が事故を防ぐうと頑張っていても限界があります。1人ひとりが事故を防ぐために心がけ、事故により悲しむ人がいないうちの未来になりますように。

車の特性を知ることです。私は保健体育の授業で、車両の特性について学びました。空走距離や制動距離、また、自動車の死角や内輪差などについてです。私は、車が曲がるときに前の方で停止していましたが、今は少し後ろで停止するよう

